

栃木県テニス協会  
総監督：阿久津定之

## 1. 大会概要

- ・日程 平成28年8月5日(金)～8月7日(日)
- ・会場 小瀬スポーツ公園テニスコート
- ・主催 公益財団法人日本体育協会・山梨県・関東テニス協会  
甲府市
- ・主管 山梨県教育委員会・公益財団法人山梨県体育協会  
山梨県テニス協会・甲府市教育委員会・甲府市体育協会
- ・後援 スポーツ庁

## 2. 試合方法

- ・ダブルス1ポイント、シングルス2ポイント、合計3ポイントによる対抗戦。
- ・試合は、各種別とも都道府県対抗のトーナメント方式で行う。
- ・試合はすべて8ゲームズプロセット、セミアドバンテージ方式とする。
- ・試合は1回戦より勝敗決定後に打ち切りとする。

## 3. 参加監督・選手・トレーナー

総監督：阿久津定之

1. 成年男子 監督：渡邊千鶴 選手：油布将也 玉腰敬大  
トレーナー：吉村健児

## 4. 試合結果

■成年男子 1回戦 対 神奈川県：8月6日(土)

	栃木県	0－②	神奈川県
S 1	油布将也	●2－8○	只木信彰
S 2	玉腰敬大	●4－8○	喜多文明
D	油布将也 玉腰敬大	打ち切り	只木信彰 喜多文明

■成年男子 1回戦敗者戦（4位決定戦） 対 東京都：8月6日(土)

	栃木県	0－②	東京都
S 1	油布将也	●1－8○	斎藤和哉
S 2	玉腰敬大	●3－8○	田中 凜
D	油布将也 玉腰敬大	打ち切り	斎藤和哉 田中 凜

■成年男子 暫定6位決定戦 対 茨城県：8月7日(日)

	栃木県	②-0	茨城県
S 1	油布将也	○8-4●	津島 巧
S 2	玉腰敬大	○8-4●	斉藤和裕
D	油布将也 玉腰敬大	打切り	津島 巧 斉藤和裕

■成年男子 5位決定戦 対 埼玉県：8月7日(日)

	栃木県	②-0	埼玉県
S 1	油布将也	W. ○-	松尾 友貴
S 2	玉腰敬大	W. ○-	塚越 雄人
D	油布将也 玉腰敬大	-	松尾 友貴 塚越 雄人

5. 所感

今年も成年女子の関東枠は8枠で関東予選はなく、成年男子のみ予選が行われた。関東は8都県中5枠と昨年より1枠更に減り大変厳しい予選となった。また、会場は山梨県甲府市ということで、暑さとの闘いでもありました。大会前日から気温38度の猛暑日になり、コートの中の温度計は42度まで上がっていた。

本県の代表選手シングルス1の油布将也選手は、専修大学3年の埼玉県出身、シングルス2の玉腰敬大選手は昨年も代表で上武大学2年の愛知県出身、昨年はシングルス1で活躍し、2人とも足工大附属高校を卒業した先輩と後輩です。

油布選手は高校時代、栃木の代表で岐阜国体に出場した経験がありますが、成年の部は今回が初出場、また、この2人で組むのも初めてだった。

初戦の対戦相手は、今回第4シードの神奈川県、シングルス1の油布選手はストロークでは対等にラリーをしていたが、なかなかゲームが奪えず2-8と落とし、シングルス2の玉腰選手は、中盤までフォアハンドのダウンザラインが決まりストロークで押していたが、ノーアドのポイントを攻めきれず、相手にゲームを与え、後半はミスが目立ち相手にプレッシャーをかけられず、惜しくも4-8で負け、初戦を落としてしまった。

初戦敗退者の相手は東京都、2人ともうちと同じ大学生、シングルス1の油布選手は、初戦と同じ展開で、なかなかゲームがキープできず、1-8で落とした。シングルス2の玉腰選手も前半は攻めきれていたが、相手に粘られるとミスが多くなり3-8で落とし、ブロック4位で厳しい状況になった。

大会2日目、Bブロック4位の茨城県との対戦、負ければ国体出場はなくなる一戦となった。シングルス1の油布選手はストロークで粘り、チャンスボールをしっかりと決め8-4と安定したストロークで勝利をつかんだ。シングルス2玉腰選手も4-4までは、どちらが勝つか分からない展開だったが、後半ブレイクするとそのままの勢いでゲームを連取し8-4で勝利、チームとしても2-0で今回初勝利、暫定6位となった。

ここでラストチャンスとなるケースは、反対のBブロック2位のチームとAブロック2位の対決でAブロック2位の山梨がBブロック2位の埼玉に勝った場合のみ5位決定戦が行われる。埼玉県の選手が先日、熱中症で入院してしまったため、山梨県が不戦勝、栃木県と埼玉県も戦う予定だったが、棄権のため勝利することができた。

今年は幸運にも恵まれ、成年男子も2年振りに本国体出場することが決まった。特に千

ームを支えてくれた吉村トレーナーをはじめ、県スポーツ振興課、県体育協会の職員の方々、応援に来て下さったたくさんの方々には大変お世話になり心から感謝しております。また、今回お世話になりました山梨県テニス協会の方々には、暑い中、3日間にわたり運営をしていただき本当にありがとうございました。

本国体においても、栃木の代表として、また、関東の代表として精一杯頑張ってきますので、応援よろしくお願ひ致します。